

令和4年度 病害虫発生予察情報(美濃地域：施設野菜) 11月予報

【 トマト・キュウリ 】コナジラミ類

野外のコナジラミ類の誘殺数は、10月から平年並となりました。トマトやキュウリのウイルス病害を媒介するタバココナジラミの侵入防止対策として、防虫ネット等の隙間を確認し、破れがあれば補修してください。

【 イチゴ 】ハスモンヨトウ

フェロモントラップの誘殺数が平年を上回る地域や、本虫による寄生株率が高い施設が認められます。被害拡大が懸念されますので、ほ場をよく確認し、発生が多い場合は防除を実施してください。

○主な病害虫の発生状況及び今後の予測（11月）

作物	病害虫名	11月(予測)	発生状況及び今後の予測	10月(発生量)	防除上の注意事項
イチゴ	うどんこ病	少	今後、気温の低下にともない菌の生育適温(17~20℃)となるため、発病が予測される。	少	<ul style="list-style-type: none"> ・うどんこ病 発生初期の防除を徹底する。 ・ハダニ類 薬剤は葉裏までしっかり散布し、天敵を導入する前にハダニ類の密度を下げる。
	ハダニ類	やや多	一部の調査ほ場で発生が認められる。今後、日照時間は平年並~多いと予想され、施設内の温度が上がりやすいため、増加が予測される。	並	
	ハスモンヨトウ	やや多	一部の調査ほ場で平年より多く発生が認められる。今後、気温の低下とともに、発生は減少すると予測される。	やや多	
トマト	灰色かび病	少	調査ほ場で発病は認められない。今後は施設内の湿度が高まりやすいため、発病が予測される。	少	<ul style="list-style-type: none"> ・曇天が続く場合は、灰色かび病や疫病などの発生に注意し、予防的な防除を行う。 ・コナジラミ類 少発生でも防除を徹底する。
	コナジラミ類	並	調査ほ場では少発生である。野外での発生は平年並であり、施設内への飛込みが予測される。	少	
キュウリ	褐斑病	並	調査ほ場で発病が認められる。耐病性品種では発病は少ないが、罹病性品種では発病が予測される。	やや多	<ul style="list-style-type: none"> ・褐斑病 罹病性品種では発病が認められたら発病葉を除去し、防除する。 ・べと病 過湿時には循環扇などを利用し、通風を良くする。 ・アザミウマ類(ミナミキイロ) わずかでも発生が認められたら防除を実施する。
	うどんこ病	少	調査ほ場で発病は認められない。今後、気温の低下にともない菌の生育適温(17~20℃)となるため、罹病性品種では発病が予測される。	少	
	べと病	少	調査ほ場で発病は認められない。曇雨天が多い場合、罹病性品種では発病が予測される。	少	
	アザミウマ類	やや少	一部の調査ほ場で発生が認められる。今後、予想気温は平年並~高いため、増加が予測される。	少	

注1) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃及び東濃地域

注2) 調査品種 イチゴ：濃姫、美濃娘及び紅ほっぺ

トマト：りんか及びかれん

キュウリ：まりん(うどんこ病・褐斑病・べと病耐病性品種)

タバココナジラミ

本虫は、トマト黄化葉巻病(TYLCV)、トマト黄化病(ToCV)及びキュウリ退緑黄化病(CCYV)の病原ウイルスを媒介します。

病原ウイルスを保有した本虫がウイルス病を媒介するため、本虫の発生が低密度でも、病害が拡大して大きな被害となる場合があります。

本県で発生している本虫の多くは、合成ピレスロイド、IGR剤など一部の農薬に抵抗性を持った「バイオタイプQ」です。

施設内で越冬可能なため、冬春作型の施設栽培においては、ほ場をよく観察し、施設内で発病株を確認した場合には早期に取り除き、本虫に効果の高い薬剤で防除を実施してください。

また、ハウス内外の除草、下葉かきの実施、残渣の適切な処理といった耕種的な対策や、開口部への0.4mm以下のネット展張、入口のネットを二重にする等の侵入防止対策も併せて行ってください。

＝施設栽培の病害虫について＝

施設栽培では、作型や栽培環境などにより施設ごとに病害虫の発生状況が異なります。施設内及び周囲の状況をよく観察し、病害虫の発生状況に応じた防除を実施してください。

数値データ(岐阜・西濃地域10月調査)

イチゴ			
うどんこ病	(発生株率)	0	(0.0)
ハダニ類	(寄生株率)	10.0*	(9.7)
ハスモンヨトウ	(寄生株率)	2.7	(0.1)
トマト			
灰色かび病	(発病果率)	0	(0.0)
コナジラミ類	(誘殺頭数)	4.2	(8.8)
キュウリ			
褐斑病	(発病葉率)	2.4	(0.3)
うどんこ病	(発病葉率)	0.3	(1.5)
べと病	(発病葉率)	0	(0.3)
アザミウマ類	(寄生頭数/100葉)	0.3	(3.6)

注1) イチゴ、トマトは3ほ場、キュウリは2ほ場の調査

注2) ()内数値は平年値 株率、葉率及び果率は%

注3) トマトのコナジラミ類は施設内に設置した黄色粘着板での調査データ(10月1半旬~3半旬までの累計誘殺数)

* イチゴのハダニ類は、3ほ場のうち1ほ場の寄生株率が30%

東海地方1か月予報(名古屋地方気象台 10月27日発表)

向こう1か月の気温は平年並~低い、降水量は平年並~少ない、日照時間は平年並~多いと予想されます。平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

岐阜県病害虫防除所では、この他にも病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>

〒501-1152 岐阜市又丸729-1 TEL (058) 239-3161 FAX (058) 234-0767



岐阜県病害虫防除所
トップページ
QRコード